

地域の民俗の記憶プロジェクト成果展

# 野馬追ダイアログ vol.2

野馬追をつなげる手仕事の人々

～いつのまにか甲冑師になっていた～

写真展 Exhibition

「いつのまにか甲冑師になっていた」

2017年1月28日(土)～2月5日(日) 1月31日(火)は休館

観覧時間 10:00～18:00

入場無料

撮影 高杉記子

※1月28日(土)11:00よりギャラリートークを行います。

トークセッション Talk session

「野馬追のある土地と生活」

2017年2月5日(日) 13:30～14:30

参加無料・申込不要

会場：南相馬市民文化会館 ゆめはっと ギャラリー

主催：はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

後援：南相馬市 相馬野馬追執行委員会 相馬野馬追保存会

協力：公益財団法人南相馬市文化振興事業団

平成28年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2016

 文化庁



はま ▲ なか ▲ あいづ  
文化連携プロジェクト



数百年の歴史をもつとされる祭礼・相馬野馬追、野馬懸は、この地に生きる人々にとってどのような存在なのでしょう。写真家・高杉記子は、2011年以降、相馬野馬追に関わる人々を取材・撮影し、時間をともにするなかで、日本人としての自分のルーツや日常生活を重ね、土地に根ざした文化がいかに人々の郷土への誇りを育み、失うことのできないアイデンティティとなっていたのかをたずねてきました。

今年度、高杉は経験と技術に裏打ちされた仕事で野馬追を支える人々の誇りを捉えました。高杉の作品展示と会場でのトークセッションが、野馬追のある土地と生活の過去・現在・未来を語り合う“対話＝ダイアログ”の場となり、相双地域の魅力やつながりをあらためて確かめることができればと思います。ぜひご来場ください。



## トークセッション 「野馬追のある土地と生活」

講師：高杉記子(写真家)

高橋一幸(甲冑師)

二上文彦(南相馬市博物館学芸員)

日時：2017年2月5日(日) 13:30～14:30

会場：南相馬市民文化会館 ゆめはっと ギャラリー

参加無料・申込不要

### 写真家プロフィール

高杉 記子 *Noriko Takasugi / Photographer*

東京都在住。ロンドン芸術大学大学院 London College of Communication卒。ポートレートを中心に、アイデンティティ、人と土地などが主なテーマ。主な展示/賞に、コニカミノルタフォトプレミオ2014入賞(東京)、Taylor Wessing Photographic Portrait Prize 2015ファイナリスト(ナショナル・ポートレート・ギャラリー、ロンドン)、“Fukushima Samurai”, Photoquoi ビエンナーレ2015(ケ・ブランリー美術館、パリ)、野馬追ダイアログ～Fukushima Samuraiが生み出す対話と未来～(はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2016、福島) など。

「ものづくりをしたかった若者が、甲冑師や装蹄師になることがあるような、そんな土地がどれだけあるでしょうか。時代の流れの中で、幾度も消えそうになる灯火を掲げながら、相馬野馬追は土地と馬と人々をつなげてきました。この地の祖先が、何が大切か選択してきたものの累積によってつくられた生活の中には、いつも野馬追がありました。そこには、観客の視線をくぎづけにする騎馬武者の方々を支える、たくさんのお仕事があり、毎日の手仕事を実直に、ときには頑固に仕上げ、野馬追を支える誇りをにじませる人々がいます。意識する、しないに関わらず、この土地の誰もが野馬追でつながっているのかもしれない。」(高杉記子)



南相馬市民文化会館

ゆめはっと

〒975-0008

福島県南相馬市原町区本町2-28-1

Tel: 0244-25-2761

Fax: 0244-25-2764

毎週火曜日、祝日の翌日は休館



### ■ お問い合わせ

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト  
実行委員会事務局

〒965-0807

福島県会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

tel: 0242-28-6000(福島県立博物館代表) \*毎週月曜日、祝日の翌日は休業。

fax: 0242-28-5986(福島県立博物館内)

### はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトとは…

福島県立博物館が福島県内の大学、文化施設、NPO等との連携により2012年から実施しているアートプロジェクト。はま(福島県の太平洋側)、なか(東北新幹線、東北自動車道が貫く福島県の中央部)、あいづ(新潟県に隣接する福島県の山間部)で展開する活動を通して、福島文化・歴史・自然の豊かさを再発見すること、福島が抱える課題を共有し共に考える場を生み出すことを目的としています。2016年度は、11のプロジェクトを実施。詳しくはこちら → [hamanakaaiizu.jp](http://hamanakaaiizu.jp)